

## 『Green Times に寄せて』

代表取締役 小池 修



この春に新入生や新入社員など多くの人が新しい人生に船出しました。スタート地点は、みなが平等に立っていた事を覚えておきたいものです。それは、今、働いている皆さんが自分を振り返って見た時にどの様な自分が見えているのかに繋がるからです。自分が考えていた人生と違う、と思う人に聞いて欲しいメモが手元にあったのでご紹介します。

## 「ほんの少しの違い」

出来ない人は言葉で説得し、出来る人は行動で説得する  
 出来ない人は話したが、出来る人は聴きたがる  
 出来ない人はお金を求め、出来る人は成長を求める  
 出来ない人は過去にこだわり、出来る人は未来にこだわる  
 出来ない人は不可能と思、出来る人は可能を探る  
 出来ない人は他者のせいにして、出来る人は自分のせいにする  
 出来ない人は一人で頑張り、出来る人は人を巻き込む



出来る人も出来ない人も、もともと大きな差は無かったです。だってスタート地点は皆が平等だったのですから。違いは、個人の意識の持ちようにあるのです。

前に前に、上に上にと向かう姿勢が強い人は、当然チャンスをつかむ機会も多くなります。クレイブには、商業高校卒でしたが、当社に6年間勤務した後、クレイブ推薦で職業紹介から一部上場企業の営業社員になった元スタッフさんがいますし、運行管理者の資格を取り、派遣先様へ転籍して、肩書きの付いた管理職になっている元スタッフさんの数も、二桁を越えました。嬉しい限りです。あなたも自信と勇気を持って前進していきましょう。



## 『春の夢』

相談役 是津定利

4月、第19期がスタートしました。新年度に当たって、年間での「(業務中の)交通事故ゼロ」とならないか。そんな夢を抱いています。

これまでも交通事故をなくすべく、努力がなされてきました。成果も上がりました。しかし、残念ながら、十分とは言えません。

なんとか、「交通事故ゼロ」の夢を実現できないものか。事故原因をみると、もう少し「注意」すれば防げたと思われる事故が大半です。とすると、「努力」次第で実現可能ではないか、と思うのです。

まずは、(業務で)運転に携わる人は、「絶対に交通事故を起こさない」、という意識を最大限に強く持つことです。「今日も事故は起こさないぞ」など、決意の言葉を声に出して、自分自身に言い聞かせる。この、「声に出す」ことに意味があります。こうした、ごく基本的なことを、初心にかえて、しっかりやっていただけたらと思います。

次に、事故を起こさないために、必ずやるべきこと、絶対にやってはいけないことなどを、具体的に考えて、よりよいマニュアルに修正していただきたいということです。

そして、重要なことは、これを「完全に実行する」ということです。この点、これまで甘さがなかったでしょうか。どうすれば完全に実行できるか、方策を考えていただきたいと思います。

業務で運転に携わらない人も、それぞれの職場、職務において、ほぼ同様のことが言えると思います。労災事故、過誤等の「ゼロ」を目指しましょう。

春の夢の実現に向けて、皆さんの努力を期待しています。

